

病理部・病理診断科

1 構 成 員

	平成 27 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
病院教授	1 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	3 人	(2 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	2 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	7 人	
その他（技術補佐員等）	1 人	
合計	14 人	

2 教員の異動状況

馬場 聡（部長・病院教授）（H18.6.1～現職）

土田 孝（副部長・助教）（H19.4.1～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 26 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	7 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	16.67	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	4 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.40	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
1. Miura K, Egawa Y, Moriki T, Mineta H, Harada H, **Baba S**, Yamamoto S. Microscopic observation of chemical modification in sections using scanning acoustic microscopy. *Pathol Int.* 2015 Mar 30. [Epub ahead of print] 【基礎看護】 [1.585]
 2. Uehara T, Kikuchi H, Miyazaki S, Iino I, Setoguchi T, Hiramatsu Y, Ohta M, Kamiya K, Morita Y, Tanaka H, **Baba S**, Hayasaka T, Setou M, Konno H. Overexpression of Lysophosphatidylcholine Acyltransferase 1 and Concomitant Lipid Alterations in Gastric Cancer. *Ann Surg Oncol.* 2015 Mar 10. [Epub ahead of print] 【外科学】 [3.943]
 3. Koizumi S, Sakai N, Kawaji H, Takehara Y, Yamashita S, Sakahara H, **Baba S**, Hiramatsu H, Sameshima T, Namba H. Pseudo-continuous arterial spin labeling reflects vascular density and differentiates angiomatous meningiomas from non-angiomatous meningiomas. *J Neurooncol.* 121(3): 549-556, 2015 【脳神経外科学】 [2.787]
 4. Sakai N, Yamashita S, Takehara Y, Sakahara H, **Baba S**, Oki Y, Takahashi G, Koizumi S, Sameshima T, Namba H. Evaluation of the antiangiogenic effects of octreotide on growth hormone-producing pituitary adenoma using arterial spin-labeling perfusion imaging. *Magn Reson Med Sci.* 14(1): 73-76, 2015 【脳神経外科学】 [1.038]
 5. Shibasaki Y, Sakaguchi T, Hiraide T, Morita Y, Suzuki A, **Baba S**, Setou M, Konno H. Expression of indocyanine green-related transporters in hepatocellular carcinoma. *J Surg Res.* 193(2): 567-576, 2015 【外科学】 [2.161]
 6. Oishi K, Sakaguchi T, **Baba S**, Suzuki S, Konno H. Macrophage density and macrophage colony-stimulating factor expression predict the postoperative prognosis in patients with intrahepatic cholangiocarcinoma. *Surg Today.* 45(6): 715-22, 2015 【外科学】 [1.208]
 7. Kikuchi H, Kamiya K, Hiramatsu Y, Miyazaki S, Yamamoto M, Ohta M, **Baba S**, Konno H. Laparoscopic narrow-band imaging for the diagnosis of peritoneal metastasis in gastric cancer. *Ann Surg Oncol.* 21(12): 3954-62, 2014 【外科学】 [3.943]
- インパクトファクターの小計 [16.665]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

(3) 総説

1. 竹原康雄, 平井 雪, 坂口孝宣, 森田剛文, 倉地清隆, **馬場 聡**. ちよつと気になる胆・膵画像 テ

イーチャングファイルから(第23回) IPMNに合併した通常型膵頭鉤部癌と結腸癌. 胆と膵 35 巻 9号 787-789, 2014 【放射線診断学】 [0.00].

(4) 著 書

(5) 症例報告

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)
 - 1. Kamio Y, Sakai N, Takahashi G, **Baba S**, Namba H. Nasopharyngeal carcinoma presenting with rapidly progressive severe visual disturbance: a case report. J Med Case Rep. 8: 361, 2014 【外科学】 [0.400]
 - 2. Sakai N, Ito-Yamashita T, Takahashi G, **Baba S**, Koizumi S, Yamasaki T, Tokuyama T, Namba H. Primary neurolymphomatosis of the lower cranial nerves presenting as Dysphagia and hoarseness: a case report. J Neurol Surg Rep. 75(1): e62-66, 2014 【脳神経外科学】 [0.000]
 - 3. 平出貴乗, 坂口孝宣, 木内亮太, 武田 真, 柴崎 泰, 森田剛文, 鈴木淳司, 川田一仁, 小林良正, 川原央好, **馬場 聡**, 松田宏一, 今野弘之. 10代に発症した肝間葉系過誤腫の1例. 肝臓 55 巻 12号 756-763, 2014. 【外科学】 [0.00]
インパクトファクターの小計 [0.400]
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの
 - 1. Nishiyama R, **Baba S**, Watahiki Y, Maruo H. Inflammatory pseudotumour-like follicular dendritic cell tumour of the spleen. BMJ Case Rep. 2015 Mar 12. doi: 10.1136/bcr-2014-206373 [0.000]
インパクトファクターの小計 [0.000]

4 特許等の出願状況

	平成 26 年度
特許取得数 (出願中含む)	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 26 年度
(1) 文部科学省科学研究費	0 件 (0 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件 (0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件 (0 万円)
(4) 財団助成金	0 件 (0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件 (0 万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	0 件 (0 万円)

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	0件
(2) シンポジウム発表数	0件	0件
(3) 学会座長回数	0件	0件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	0件
(6) 一般演題発表数	0件	

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成26年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成26年度
産学共同研究	1件

1. (株)キャノン、「テラヘルツ波臨床応用に関する共同研究 ～ヒト病理組織を用いたテラヘルツ波分光～」

11 受賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道